

ポーラ化成工業の黒住研究員が日本心理学会にて優秀発表賞

頬の運動の遅れが顔の魅力度に影響

ポーラ・オルビスグループの研究・開発・生産を担うポーラ化成工業株式会社(本社:神奈川県横浜市、社長:釘丸和也)の黒住研究員が、日本心理学会第84回大会において優秀発表賞を受賞しました。

ポーラ化成工業では、今後も感性研究の分野において革新的な研究を進め、業界の発展に貢献するとともに、お客さまに驚きと感動を提供する製品・サービスの提供を目指します。

●受賞対象となった研究について

ポーラ化成工業では、長年に渡って「美」や「魅力」とは何かを探求しています。その一つとして、顔や皮膚の動きと印象に着目した認知心理学的な研究を続けており、今回受賞した研究はその一環として行いました。

■表題: 頬の運動の遅れが視覚知覚に及ぼす影響

■発表者: ポーラ化成工業 フロンティアリサーチセンター 黒住 元紀
工学院大学 情報学部 蒲池 みゆき 教授

■発表内容概要

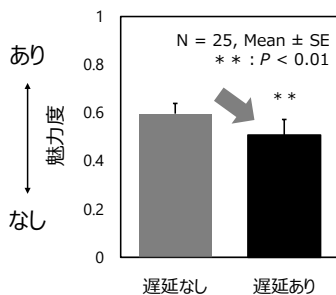
本研究では、ごく僅かな顔(頬)の動きの違いが、「魅力度」に影響を与えることを解明しました。

ポーラ化成工業のこれまでの研究で、加齢によって、顔を動かしたときに頬の肌が遅れて動くようになることが分かっていました。そこで、この現象が顔の印象に与える影響について詳細に調べるため、顔の動きを表すモデル(図)を被験者に提示する試験を行いました。その結果、以下の2点が新たに分かりました。

- ① 物体の動きにおいては気づきにくい0.1秒程度のごく僅かな遅れであっても、人の顔に生じる場合には感知されやすくなる
- ② わずか0.1秒の遅れが頬部に生じると顔の魅力度が低下する

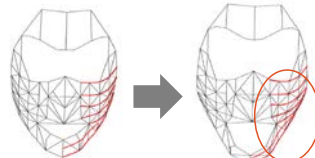
従来、顔の魅力についての研究は、静止した顔の目の大きさや肌のシミなどの特徴を主な対象としていました。しかしポーラ化成工業ではいち早く「動き」に着目してきました。私たちの普段のコミュニケーションにはさまざまな動きや表情が伴います。特に with コロナでビデオ会議などが当たり前となった今、画面に映された相手の顔のみが見えるということも増加しています。したがって、動いている顔を人がどのように認知して、どのような印象を受け取るのかを明らかにする研究は、ますます重要になると考えられます。

頬の遅延で魅力度が低下



試験方法

提示した顔モデル (無表情から口を大きく開ける)



遅延なし: 頬が表情変化と同時に動く
遅延あり: 頬が表情変化から0.1秒遅れて動く
(50代女性の頬の遅延平均に相当)

モーションキャプチャで取得した10名の日本人女性の顔モデルをもとに頬の動きを加工し「遅延なし/遅延あり」の2種類、合計20種類の顔モデルを作成。

10~20代の男女25名が、作成した顔モデルを「魅力的である/魅力的でない」で評価。魅力的であるの選択率を「遅延なし」と「遅延あり」それぞれについて算出した。

ポーラ化成工業では、グループの理念である「感受性のスイッチを全開に」を体現するべく研究を続け、今後も美やコミュニケーションの発展に貢献していきたいと考えています。

【報道関係者の皆さまからのお問い合わせ先】(株)ポーラ・オルビスホールディングス コーポレートコミュニケーション室
広報担当 Tel 03-3563-5540 / Mail webmaster@po-holdings.co.jp

※在宅勤務を推奨しておりますので、お電話がつかない場合はメールにてお問い合わせください。

【補足資料 1】日本心理学会および優秀発表賞について

日本心理学会

心理学の進歩普及を図ることを目的として1927年（昭和2年）4月7日に創立された全国規模の心理学の総合学会として最も歴史のある学会です。基礎領域から応用領域まで広い専門領域にわたった会員を擁し、日本の心理学の発展に貢献してきました。2019年3月末時点の会員数は、7,882名となっています。

優秀発表賞

学術大会の一般研究発表のうち優秀と認められたものが選出されます。今回の表彰は、日本心理学会第84回大会（2020年9月8日（火）～11月2日（月）、ウェブ開催）で審査対象となった発表562件を対象に、役員ならびに学術大会委員会委員の投票によって審査されました。

【補足資料 2】受賞者のプロフィール

黒住 元紀（くろすみ もとのり）

フロンティアリサーチセンター LIFEカテゴリー Principal Investigator (PI)



[略歴]

2012年にポーラ化成工業に入社。しわやシミなど皮膚老化のメカニズム解明研究、顔や皮膚の計測研究、顔や皮膚から人が受け取る印象を解明する認知心理学研究で実績を積み、2020年よりフロンティアリサーチセンター LIFEカテゴリーのPIに就任し感性研究をリードする。

[受賞歴]

日本化粧品技術者会 (SCCJ) 第77回研究討論会
最優秀発表賞
『顔の動きや観察角度が年齢印象に及ぼす影響』
(2015年)

